

## 第 2 回島田市総合計画審議会 ワークショップ 記録

### 1 日時

令和 2 年 8 月 31 日（月） 19 : 00～20:50（内、 19 : 50～20 : 35）

### 2 場所

島田市役所 4 階 第三委員会室南・北

グループごとの記録については次ページ以降に記載

## Aグループ

### 1 メンバー

委員：磯崎委員（発表者）、河村委員、北川委員、クラーク委員

ファシリテーター：島田市戦略推進課 興津

### 2 内容

初めに、興津から進行方法の説明やルール等について説明、委員の互選により磯崎委員を発表者に決めた。

－ 5分程度付箋に記入してもらおう－

（転入者を増やしたい！→黄色い付箋 ずっと住み続けてもらいたい！→ピンクの付箋）

#### ○衣・食・住（ベースとなるもの）

北川委員：転入、定住ともに、まずは仕事があることが前提

北川委員：良質で安価な住宅があること

磯崎委員：医療体制を充実させる（小児科、産婦人科など弱い）

河村委員：豊かな自然（住み続けたいと思える環境）があること

河村委員：有機野菜のマルシェ（安全な食がある）あること

#### ○とんがった政策

北川委員：教育（例えば、東大進学率が高い）など、目立つ特徴を出す

北川委員：シングルマザーに優しいまち（仕事、住居のあっせんなど）

磯崎委員：こども医療費の完全無償化（1回目、2回目自己負担500円の撤廃）

磯崎委員：こども手当の増額（3人目）

磯崎委員：20年間定住することで、出産費用の全額支給

磯崎委員：上記子育て施策について、周辺市町との比較表をつくり島田市の優位性を確認する

#### ○島田市を好きになること

北川委員：島田市出身者に戻ってきてもらう（Uターン促進）

磯崎委員：小中学生に対する地元企業の紹介（就労体験）⇒地元を知ってもらう

河村委員：転入者を地域が優しく受け入れる（良好な地域コミュニティ）

クラーク委員：市民が島田市に誇りを持つ

#### ○外国籍の市民を増やす

北川委員：社会移動の増で人口を確保するのなら、思い切って外国籍の人の誘致に特化する

北川委員：ある国に特化して転入者を促進する（例えば、ベトナム）

北川委員：行政がバックアップして、その国の安心感を得る

北川委員：日本のルールを押し付けない

### ○情報発信

磯崎委員：市のPR、情報発信が足りない

河村委員：WEBを使った情報発信、日本語講座（海外向け）

クラーク委員：アイコン（川越街道、島田髻などの島田市の象徴）をもっと活用する

### 3 まとめ

短い時間の中、活発に多くの意見が出た。「来てもらう」と「住み続けてもらう」は、連動した取組であるべきであり、そのためにAグループとして以下の3点がとても重要であるとの結論に至った。

①島田市にはいいものがいっぱいあるが発信が足りない！（もったいない）

②市民が誇りを持たなければ、住み続けない、新しい人を優しい気持ちで受け入れられない。

③島田市はこれだ！という何かとんがった施策が目立つ

これらを踏まえた、答えは…

「島田市の特徴をつくり、日本人・外国人に対して、もっとPRする！」

## Bグループ

### 1 メンバー

委員：大池委員、萩原委員、村田委員、渡瀬委員（発表者）

ファシリテーター：島田市戦略推進課 服部

### 2 内容

初めに服部からルールを説明し、自己紹介（名前と今どのようなことをしているか簡単に）を実施した。その後委員互選の上で渡瀬委員が発表者に決定した。

※人の意見は絶対に否定しないということだけお願いした。最初は付箋に記入しながら意見を出してもらうよう説明したが、一人ひとり熱く意見を語っていただいたので、ファシリテーターが付箋を記入し、委員の皆様には議論に集中していただいた。

#### ○多文化共生

渡瀬委員：外国人向けの学習ツールをつくって欲しい（技能実習の資格取得支援）

萩原委員：外国の人たちが一番不安に思うところは生活や言語の部分が多い

渡瀬委員：学習ツールの中で、日本のルールを教える

#### ○観光交流

萩原委員：空き家対策が必要

萩原委員：空き家に人を呼ぶ。外国人だけでなく、観光客などに地元の良さを知ってもらうことができる

萩原委員：人を留めることができる場所が必要だと思う。いわゆる人の滞留対策が必要である

#### ○多文化共生、市民協働、経済産業

大池委員：子どもがいると、その子どもが地域に関わる。日本に来て、子どもを産んでもらうこともいいのではないか

大池委員：働く場所を増やすことが大事。企業や工場の誘致をもっと積極的にやって欲しい

大池委員：雇用を増やすのが一番いい。そうすれば島田市も活性化するのではないか

渡瀬委員：アウトレットができれば金谷に人が増えると思った

村田委員：新東名周辺の牛尾山地区や堤間地区で企業誘致は進んでいる。あの周辺も農振区域が多いからさらに広げるには難しい

大池委員：金中跡地を大企業の工場にすればいいと思う

渡瀬委員：島田市は給料が安いと思う。もう少し給与水準を上げればいいのではないか

## ○賑わい、シティプロモーション、子育て・教育

萩原委員：賑わいが足りないと思う

萩原委員：実は島田市はスポーツができる施設の数は県内1位。それを生かす

萩原委員：もう少しイベント等を開催して人を呼び込まないといけない

萩原委員：若い人、ママ友、外国人などが留まれる場所が欲しい

渡瀬委員：受入体制が整っていない

渡瀬委員：藤枝はおしゃれなお店がある。おしゃれな店がもっとあればいい

渡瀬委員：島田は子育てに関してはすごいのに目立たない

萩原委員：子育て後に何か対策が必要なのではないか。子育て後の魅力もないといけない

大池委員：若い人が住むには教育も重要

村田委員：島田市に大学があればいいと思う

### 3 まとめ

一人ひとりが自分の意見も持っており、島田市を良くするために熱く語ってくれた。

主に出た意見としては

①人を呼び込むには仕事がないと来ない。

やはり市内に働く場所がもっとあればいい。

②島田市には人が留まることができる場所が不足している。

若者(特に学生)、子育て世代、観光客が滞留できないため賑わいが薄くなってしまう。

人が滞留することで交流が生まれ、いいまちになっていくということで…

「仕事がある 交流のまち島田」を目指していくことで意見はまとまった。

## Cグループ

### 1 メンバー

委員：小栗委員（発表者）、塚本委員、中根委員、原委員、松本委員

ファシリテーター：島田市戦略推進課 榊原

### 2 内容

初めに、榊原から進行方法の説明やルール等について説明し、自己紹介（氏名+最近ハマっているもの）をしてから主題についての意見交換を開始した。

※意見については、1人が意見を出す→似たような意見を他の方も出す→出し終わったら新しいジャンルの意見を1人が出すというサイクルで出してもらった。

－ 1分程度付箋に記入してもらおう－

（転入者の増→転 根付いてもらう→根 両方に共通している→共で記載）

#### ○子育て、医療について

松本委員：育児関係の施設を今よりも増やす必要がある（共）

原委員：施設も含め、さらに広く子育て支援の充実が必要だと思う（共）

中根委員：自分も同様に、子育て支援全体の充実が必要と思う（共）

塚本委員：子育てについて、相談できる方や仕組みがあればさらにいいのではないかと（共）

小栗委員：病児保育をもっと充実させるといいのではないかと（共）

松本委員：会社内で育児施設を設置できれば、仕事と育児の両立ができるのではないかと（共）

中根委員：仕事をしていなくても、子どもを預けられる保育所も必要（共）

原委員：幼児、託児を含んで、子ども預かり施設全体の充実が必要だと思う（共）

小栗委員：男性の育児休業取得が当たり前という風潮もあるといい（共）

原委員：子どもを産んでもらえるよう、不妊治療補助の拡充が必要（共）

松本委員：子どもを産める場所がないため、医療機関の充実も必要なのではないかと（共）

#### ○仕事について

松本委員：島田市には広大な農地があるため、農業を始める方を呼び込めるような仕組みがあるといいのではないかと（転）

小栗委員：ストーリーのある農業があれば、農業をしたい方を集められると思う（転）

中根委員：人を呼び込むためには、やっぱり仕事、会社がたくさんあることが必要（転）

塚本委員：働く場所が多様性に富んでいて、様々な人が働きたいと思えるといい（転）

小栗委員：自分も、転職先が多くあるといいと考える（転）

原 委 員：安定した収入を得ることができる企業も多く必要だと思う（転）

松本委員：インバウンドを増やしていくことが重要と考える（転）

中根委員：企業誘致に力を入れていくべき（転）※付箋無し

#### ○住環境について

小栗委員：住む家が簡単に見つかけられると、住みたいと思えるきっかけになる（転）

原 委 員：住宅地がもっと多くなって欲しい（転）

小栗委員：0円住宅で話題作りをしてはどうか（転）

松本委員：空き家が増えているため、活用を考えたい。空き家管理をデジタル化していけば、  
住宅取得のニーズと結び付けられるのではないかと（転）

中根委員：市全域に無料W i F iがあれば、住みやすくなると思う（共）

#### ○コミュニティについて

塚本委員：地域コミュニティについて、相談できる相手は必要と考えるが、近所と程よい距離  
感を保つ必要がある（根）

小栗委員：地域に根付けないほとんどの理由は人間関係だと考えるため、改善が必要（根）

#### ○教育について

原 委 員：島田愛を育む子どもたちへの教育が必要だと思う。島田は〇〇のまちと言えるもの  
を子どもたちがアピールできるといい（根）

小栗委員：島田市の誰かとつながりをもてるように、教育の段階で支援をしていきたい。（根）

中根委員：外国人の方について、日本で技能を学んでもらうのではなく、逆に外国の技術を教  
えてくれる人を招くことも必要だと思う（共）

また、中心市街地に大学があると、人を呼び込めると思う（転）

塚本委員：中心市街地に賑わいがあることは重要だと思う。もっと個性のある店を増やしては  
どうか（転）

#### ○シティプロモーションについて

原 委 員：広報紙等で、地域の良さを広めていくことが重要と考える（根）

小栗委員：県外からは、島田市という存在を知らない。もっと島田市を知ってもらうことが必  
要（転）

- 3 まとめ ある分野に意見が極端に集中することなく、バランスよく多くの意見が出た。共通していることとしては、現状維持ではなくさらに良くすることであったため、ワークショップのまとめとしては…
- 「今よりもっと良い島田市になったら、たくさんの転入者が来てくれるはず！」というものになった。